

## 教科別研修講座報告

平成 30 年 10 月 26 日 (金)

C011 中学校国語科研修講座

「対話的で深い学びにつながる言語活動とは」

講師 十文字学園女子大学人間生活学部

教授 富山 哲也 氏



### 〈内容の詳細〉

#### 1 全国学力調査と県学力調査から見た課題について(講義)

SASA2017とH30全国学力調査の結果分析から見た、福井県の子どものたちの良好な点と課題点についての報告と指導改善事例などの紹介

#### 2 新学習指導要領国語科の概要～資質・能力と言語活動～(講義)

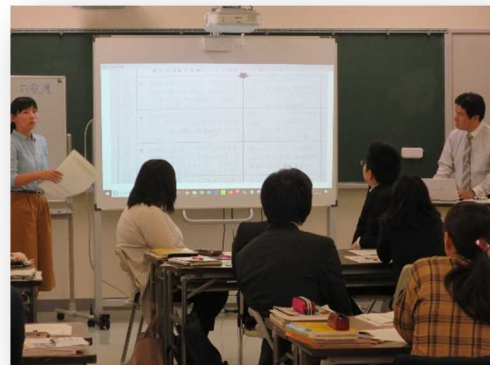
現在の国語科指導の課題や、新学習指導要領の考え方と内容の詳細、今求められている授業改善の視点などについての講義

#### 3 新学習指導要領から授業をつくる(講義・演習)

言語活動を通して、各指導事項を指導するというを押さえた上での単元構想表を使った「書くこと」の授業構想及び、グループ協議と全体共有

#### 4 授業案に基づいた評価問題について(講義)

資質・能力のバランスのとれた学習評価を行っていくために、指導と評価の一体化を図ることや、パフォーマンス評価などを取り入れ、多面的・多角的な評価を行っていくことの重要性と、そのための評価規準のあり方などについて



### 〈受講者の声〉

- ・移行期間である指導要領の内容が気になっていたもので、よいタイミングで話が聞けて助かりました。わかりやすく、すぐに使えそうな授業のアイデアや評価方法を教えていただけてとても満足しました。
- ・内容が濃かったです。新しく知ることが多かったですし、評価基準をしっかりとって指導する大切さがよく分かりました。
- ・教員として、最も読み込むべき学習指導要領(解説)の重要性に改めて気がつくことができたという点で大変有意義であった。
- ・単元構想表は今後も使っていきたいと思います。思考力・判断力・表現力の指導事項に合わせて、知識・技能も指導していくということを、指導主事訪問の授業ですぐに実践したいです。
- ・単元構想表を用いて授業を組み立てると、授業に一本柱が通るイメージで、授業をつくりやすかったです。今後も使っていきたいです。